

《 患者の皆様へ 》

2022年3月24日

薬剤部

現在、薬剤部では、「ESBL 産生菌感染症に対する AST（抗菌薬の適正使用を目的とした抗菌薬の使用管理チーム）の介入効果」に関する研究を行っています。この研究では培養検体から ESBL 産生菌が検出された入院患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「ESBL 産生菌検出例における Antimicrobial Stewardship Team の早期介入効果の検討：後方視的研究」

2. 研究の意義・目的

近年では抗菌薬の不適切な使用などにより、耐性菌の増加が世界的に問題になっています。この研究では AST による介入が不適切な抗菌薬使用の抑制や治療効果の向上に寄与できるかどうかを調査します。この結果により、抗菌薬の適正化に向けた取り組みの改善点を明らかにすることができ、その結果、耐性菌の抑制および患者さんの予後改善の効果が期待できます。

3. 研究方法・研究期間

本研究では、患者さんのカルテからデータを集積し解析を行います。

研究期間：倫理審査委員会承認後 ～ 2024年3月31日

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等の管理は、匿名化の上に千葉県済生会習志野病院の外部ネットワークが接続していない機器で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

6. 本件のお問合せ窓口

社会福祉法人^{恩賜}済生会 千葉県済生会習志野病院

薬剤部：安部謙佑

電話番号：047-473-1281